

## 地对協コーナー

現在、高齢化の進行によりCOPDや間質性肺疾患などの慢性呼吸器疾患の患者数が増加傾向にあります。中でも高齢者の誤嚥性肺炎患者の急増が見込まれている中、呼吸器疾患患者の増加に備えた医療体制の構築は急務です。呼吸器疾患では薬物治療や手術治療に加え、包括的なリハビリテーションガイドラインも推奨されていますが、実際の医療現場では呼吸器疾患リハビリテーション治療の実施率は依然として低く、特に在宅患者に対する実施率が低い現状があります。こうした状況をふまえ、広島県地域保健対策協議会では令和7年度より「呼吸器疾患リハビリテーション地域連携特別委員会」を設置しました。同委員会では、今年度、実態調査を行うとともに、医療従事者向け講演会の実施を予定しています。

今号は、12月に開催した委員会等の報告をお届けします。

皆さまのご要望やご意見などがございましたら、遠慮なく、事務局までお寄せください。また、過去の各委員会活動などは、地对協ホームページ (<https://www.citaikyo.jp/>)へ掲載していますので、アクセスをお待ちしております。

### ○第1回呼吸器疾患リハビリテーション地域連携特別委員会

日時：令和7年12月1日(月)19時00分

場所：広島県医師会館 3階 301会議室/

Web

委員長：服部 登

本県における呼吸器疾患リハビリテーション治療の普及と包括的な地域連携体制の構築を目的として、令和7年度に実態把握調査および医療関係者を対象とした講演会を実施することとし、具体的な調査項目や講演会の企画内容について協議した。

### 報告・協議事項

#### (1) 呼吸器疾患リハビリテーション地域連携特別委員会について

本委員会は広島県における呼吸器疾患リハビリテーション治療の普及と包括的な地域連携体制の構築を目的としている。

令和7年度は、実態調査および講演会の実施を予定している。実態調査は、県内における呼吸器疾患リハビリテーションの実施状況および地域連携の現状について調査予定である。講演会は多職種を対象に、呼吸器疾患リハビリテーションの重要性をテーマに検討する。

スケジュールとしては、第1回委員会後、12月から1月にかけて実態調査を実施し、2月に第2回委員会を開催して、調査結果をとりまとめる。その後、3月に講演会の開催を検討する。

#### (2) 各委員施設における呼吸器疾患リハビリテーションにおける実務者との連携について

本委員会は県内の地域呼吸器リハビリテーションセンターから各施設を代表して医師に委員を務めていただいているが、委員会として現場の状況を把握し、地域連携を進めていく上では、各施設で呼吸器リハビリテーションに携わっているスタッフや地域連携・在宅医療など関連分野の実務担当者の情報や意見が重要である。そのため各委員には所属施設の実務担当者として連携し、現場の声を委員会へお寄せいただきながら活動を進めていきたい旨を説明した。

#### (3) 呼吸器疾患リハビリテーションの実施状況および地域連携に関する実態調査について

呼吸器疾患リハビリテーションの実施状況および地域連携に関する実態調査について、調査の意義と具体的な調査項目案について説明を行い、意見交換を行った。

本調査は、現在、呼吸器リハビリテーションが実際にどの程度行われているのかを把握するため、実態調査を実施した上で、課題に対する取り組みに繋げることを目的としている。調査項目は、施設名、所在地、担当者名、設置主体としての病院あるいは診療所の区分、医療機能区分、病床数の他、呼吸器リハビリテーションに携わる職員の職種および人数、実施実績(疾患別)などを予定している。

#### (4) 呼吸器疾患リハビリテーションに関する講演会の実施について

本県を含む全国において、呼吸器疾患リハビリテーションの実施率や届出施設数が依然として少なく、医療介護の現場における認識や人材育成実践の場の拡充が急務である。このため呼吸器疾患リハビリテーションの重要性に関する理解を深め、多職種間の連携の促進を目指し、講演会の開催を検討する。

具体的には、知見および標準的実践法の普及、医療・介護・在宅行政など各分野における多職種連携の促進、リハ提供体制の強化と均てん化、啓発の推進、将来的な加算届出施設・在宅実践施設の増加促進を考えており、令和8年3月頃に医療関係者を中心とした関係職種を対象に想定する。

また、案として、第1に広島県における呼吸器疾患リハビリテーションの現状報告、第2に広島県内の実践例、第3に最新動向および地域連携の展望などに関する基調講演を示した。

上記説明をふまえ協議の結果、開催は3月の土曜日夕方を候補に広島県医師会館を会場として検討することとした。また、事例報告ならびに基調講演は、吉島病院呼吸器内科の池上靖彦委員ならびに府中市民病院の多田敦彦委員を候補とし調整することとした。

#### ○救急医療特別委員会 第4回救急搬送支援システム実証実験WG

日時：令和7年12月2日(火)18時30分

場所：広島県医師会館 2階 201会議室/  
Web

WG長：楠 真二

広島県救急搬送支援システムの利用規定、第2期実証実験の効果検証、CPAモードの試行運用期間の終了について報告し、救急医療情報連携プラットフォームの運用方針について協議、意見交換を行った。

#### 報告事項

##### 1 広島県救急搬送支援システムの利用規程について

国が定めるセキュリティガイドラインを踏まえ、医療機関側の利用規定を整理し、規約を改定する。

主な改定点は、医療機関が調達・用意するシステム利用端末については、医療機関がIT資

産管理台帳等において適切に管理する端末とし、システムを利用する全ての端末の機種、配置場所、配置理由、利用方法、主な利用者および利用者の特定方法を県および県委託事業者（TXP Medical株式会社）に届けることとする。また、システムの利用にあたっては、画面パスワードロックの設定、システム利用時に二要素認証によるログインおよび利用者の特定（※）を必要とする。

改定後の規約については、後日、実証実験参加医療機関に送付される。

※指定された者以外の者の入室が制限されるような区画（当該区画への入場に当たって利用者の識別・認証が適切に実施されている）の中に端末が設置されている、または、画面パスワードロックが定期的にかかる設定などにより操作可能な人が限られる端末において、シフトやログの記録等から一定の範囲内で利用者が特定できることを定める。

##### 2 第2期実証実験の効果検証について

第2期実証実験の効果検証は、令和7年10月から令和10年9月までの3年間を対象として進めるものであるが、内閣府の「新しい地方経済・生活環境創生交付金デジタル実装型TYPES」を活用していることから、令和7年度の実施結果を報告書としてまとめ、年度末に本会議で報告、国へ提出することとしている。検証に必要な搬送データについて、県から消防本部に依頼することとしている。

第1期実証実験では、業務効率化など一定の効果が確認された一方、受入交渉時間や現場滞在時間などの効果は明確でなかったため、第2期では運用フローの再整理などとともに、症別等々の検証の深掘りをする方針である。また、広島大学と連携し、搬送データとDPCデータを紐づける搬送後のアウトカム評価にも取り組むこととしている。

また、KPIについては、救急隊および医療機関のシステム利用状況や搬送に係る時間などの多角的な指標を設定しており、「救急隊のシステム入力率」ならびに「医療機関の搬送人員情報アクセス率」は、目標値をいずれも8割以上とし、国交付金の事業要件として中核的な指標となっている。

救急隊側は高い入力率が期待される一方、医療機関側はプラットフォーム利用が進んでいない状況が見られ、利用を促進する必要がある。

### 3 CPAモードの試行運用期間の終了について

令和6年11月17日から試行運用しているCPAモードは、令和7年12月をもってSign of Life機能の運用を終了し、収集したデータは、心停止蘇生中に認めるSign of Lifeの疫学（頻度、種類、出現タイミング）、および予後との関連などについて研究を行う札幌医科大学に提供される。

CPAモードの試行運用期間の終了（Sign of Life機能の終了）については、実証実験参加消防本部および医療機関に対して県から通知される。

なお、CPAモードにおけるSign of Life以外の項目（目撃有無、最終健常日時、初期波形）の必要可否については、今後、消防・医療関係者の意見を踏まえながら整理していく。

また、本機能の最終的な利用実績については、

年度末に改めて報告を行うこととしている。

#### 協議事項

### 1 救急医療情報連携プラットフォームの運用方針について

救急医療情報連携プラットフォームの医療機関側の利用率は全体で約40%と低く、現状、国交付金の要件である80%に達していない。従前の案内どおり、12月中旬以降はシステムを利用する全ての端末において、運用上プラットフォームの利用へと切り替える方針が改めて示され、二要素認証に必要なアカウントの発行や説明会等による周知のほか、システムのログ記録のモニタリングを通じて、利用率が低い医療機関へは個別に働きかけを行い利用率の向上を図る。

## 県地对協からの提供資料について

県地对協では以下の県内共通クリティカルパス、パンフレット、マニュアル等を作成しています。ご入り用の際は下記事務局までご連絡ください。

#### 【地域連携クリティカルパス】

- わたしの手帳 地域連携パス (Ver.7)
- わたしの手帳 乳がん
- わたしの手帳 肺がん
- わたしの手帳 前立腺がん
- わたしの手帳 甲状腺がん
- わたしの手帳 肝がん

- わたしの手帳 大腸がん
- わたしの手帳 大腸がん内視鏡治療後
- わたしの手帳 胃がん
- わたしの手帳 胃がん内視鏡治療後
- など

#### 【パンフレット・マニュアル】

ACPの手引き 豊かな人生とともに～私の心づもり～

【事務局】 広島県医師会地域医療課 電話：082-568-1511 Eメール：citaikyo@hiroshima.med.or.jp



わたしの手帳 地域連携パス (Ver.7)



わたしの手帳 乳がん



わたしの手帳 肺がん



わたしの手帳 前立腺がん



わたしの手帳 甲状腺がん



わたしの手帳 肝がん



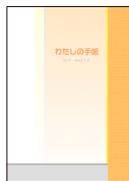
わたしの手帳 大腸がん



わたしの手帳 大腸がん内視鏡治療後



わたしの手帳 胃がん



わたしの手帳 胃がん内視鏡治療後



ACPの手引き 豊かな人生とともに～私の心づもり～

など

※一部ホームページにて公開中

広島県 地对協

検索